

『表現学』第3号(2017年3月25日)抜刷
大正大学表現学部表現文化学科

日本人大学生の日本語聴解力に関する調査研究
—オーセンティック教材聞き取りの誤答分析—

中島 紀子

日本人大学生の日本語聴解力に関する調査研究

—オーセンティック教材聞き取りの誤答分析—

中島 紀子

1. 研究目的

日本人大学生（以下、「日本人学生」とする）の日本語能力低下が問題視されるようになって久しいが、各大学では、日本語を「書く」並びに「読む」能力を向上させるために、「文章表現」や「表現技術」といった授業を組み入れ、「話す」能力向上のためにプレゼンテーションを行う授業を増やす等さまざまな対策をとっている。しかし、言語を運営する上での四技能のうち、「聞く」能力に関する研究報告を目にするのはほとんどない。

そこで、学校教育の場において「聞く」学びがどのように取り上げられているかを確認しながら、オーセンティック (authentic) な教材を利用した聴解学習を授業に取り入れ、誤答を分析することで日本人学生の聴解力の現状を調査する。また、聞く力の発達の妨げとなる要因のひとつとして「テレビの字幕」を取り上げ考察を試みる。

聴解力の向上を図り、語彙力、ひいては日本語能力向上の一助につながるのではないかと考え、授業に聴解学習を取り入れることを提言する。

2. 大学以前の学校教育における「聞く」学習

日本人学生の聴解力の現状を調査するにあたり、まず、大学に入る以前の学校教育において、どのような「聞く」教育が行われているのかを知るため、国語科の学習指導要領にあたった。同時に、聞き取り学習をした経験の有無に関して直接学生に尋ねてみた。

昨今、中央教育審議会の答申などにおいても、盛んに「小中一貫教育」「中高一貫教育」「高大接続教育」などの意向が示されているので、本稿でも継続学習の可能性を探ることとした。

2.1 学習指導要領

文部科学省から出されている、小学校、中学校、高等学校の国語科学習指導要領⁽¹⁾の中で、「聞く」学習

に関して触れている箇所を以下に抜粋した。

2.1.1 小学校学習指導要領

〔第1学年及び第2学年〕

1 目標

(1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。

オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりすること。

エ 知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりすること。

〔第3学年及び第4学年〕

1 目標

(1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の

事項について指導する。

エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。

〔第5学年及び第6学年〕

1 目標

(1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。

ウ 事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。

2.1.2 中学校学習指導要領

〔第1学年〕

1 目標

(1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。

オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、

相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。

〔第2学年〕

1 目標

(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

〔第3学年〕

1 目標

(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア 時間や場の条件に合わせてスピーチをしたり、それを聞いて自分の表現の参考にしたりすること。

2.1.3 高等学校学習指導要領

第1 国語総合

1 目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 内容

A 話すこと・聞くこと

(1) 次の事項について指導する。

イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。

エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

(2) (1) に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながら それらを聞いたりすること。

第4 現代文B

3 内容の取扱い

(1) 総合的な言語能力を養うため、話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことについて相互に密接な関連を図り、効果的に指導するようにする。

2.2 学習指導要領に共通すること

以上みてきてわかることは、どの学年においても、「書くこと」「読むこと」に関してはそれぞれ別の項目が立てられているのに対し、「話すこと・聞くこと」は一つのカテゴリーとして扱われていることだ。

「小学校学習指導要領解説（国語編）」によると、「『話すこと・聞くこと』は話すことと聞くことが一体化して考えられるように、説明や報告を発表したり、それらを聞いて感想や意見を述べたりすること、紹介や推薦をしたり、それらを聞いたりすることなどの言語活動例を示した。」となっており、小学校の段階から、「話すこと」と「聞くこと」は自分と他者を関わらせて行う言語活動と位置付けられている。つまり、コミュニケーションを行う上での「聞く」行為の技能習得に重点が置かれていることになる。

ここで、外国語教育における「聞くこと」の学習を

考えてみると、必ずしも相互のやり取りだけではなく、例えば、電車の中でアナウンスを聞く、入国管理局で指示を受けるなど、一方的に聞く場面での練習も取り入れている。その場合、重要となるのが、コミュニケーションをとることではなく、「正確」に聞き取れるかがどうかであり、一字一句聞き逃さない訓練をすることになる。一方、母語話者の学習においては、会話が成立するよう全体的に話が聞き取れることが重要であり、細かい箇所が実際どれ程聞き取れているかは、個人に任せられており、ここに大きな違いがある。

2.3 日本人学生の日本語聞き取り学習体験

平成28年度秋学期開講科目「文化の探究（ふしぎな日本語）」において、初回授業後のコメントシートで「これまで国語などの授業で日本語の聞き取りをしたことがあるか、ないか」を履修者に聞いてみた結果（有効回答155）を表1に示す。

表1のとおり、「ある」と答えた学生は57名いたが、学生の学年による差は見られず、どの段階での学習だったかの内訳（複数回答）は、小学校において行ったとする者33名、中学校22名、高校16名、大学1名となり、高学年になるほど聞き取り学習は減っているようだ。どの授業で行ったかに関しては、国語・現代文・古典のほか、少数ではあるものの道徳という回答が寄せられた。題材に関しては、詳しく覚えていないと答える人が大半で、回答があったものには、先生独自のプリント、CD、ニュース、説明文、会話、話し合いの聞き取り、ディスカッション、小説などの物語、日本昔話、日本の政治について、NHKの「にほんごであそぼ」、天声人語、放送部の放送内容、落語などと書かれていたが、具体的な内容を覚えている人は殆どいなかった。

2.1.1 でみたとおり、小学校の学習指導要領では、目標や内容には「正確に聞く」とは謳われてはいないため、聞き取り学習が正確に聞く目的で取り上げられたのかは定かではない。しかし、3割強の学生がこれまでの授業において聞き取り学習を経験していることから、聞き取り学習が必要だと考える学校教諭もいることがわかった。

外国語教育では、「一字一句」正確に聞き取ることを目的とした聴解教材が多く市販されているが、学生の回答からも、小・中・高等学校育において各教諭が授業に聞き取り学習を取り入れる場合、既製の教材ではなく、オーセンティック教材を準備されたのではないかと想像ができる。

表1 授業などで日本語の聞き取りをした経験の有無

(数値は人数)

| 学年 | ある | 「ある」内訳 | | | | ない | 合計 |
|-----|------------|--------|-----|----|-----|------------|-----|
| | | 小学校 | 中学校 | 高校 | その他 | | |
| 1年生 | 12 (34.3%) | 7 | 5 | 1 | | 23 (65.7%) | 35 |
| 2年生 | 27 (39.1%) | 19 | 8 | 8 | | 42 (60.9%) | 69 |
| 3年生 | 17 (34.7%) | 7 | 8 | 7 | 1 | 32 (65.3%) | 49 |
| 4年生 | 1 (50%) | | 1 | | | 1 (50%) | 2 |
| 合計 | 57 (36.8%) | 33 | 22 | 16 | 1 | 98 (63.2%) | 155 |

3. オーセンティック教材の導入

前章でみてきたとおり、小・中・高等学校教育における「聞く」学習は、相手の言っていることを一字一句正しく聞き取るためではなく、相手が何を言いたいかの内容を聞き取り、相手の使用している「ことば」そのものではなく、「真意」や「ニュアンス」を感じ取り、「適切な対応」ができるためのコミュニケーション能力向上が目的である。

しかし、果たして日本人学生は、日本語の母語話者ではあるが、実際に相手のことばを正しく聞き取っているのだろうか、と疑問が生じる。そこで、授業において、日本人学生に対して聴解学習の導入を試みることにした。

外国語教育の「聴解」授業では、既習の語彙や文法に配慮が施された聴解学習用に作成された教材を学習者のレベル別に合わせて使用するため、上級になればなるほど、オーセンティックな教材が求められ、授業に取り入れられている。そこで、日本人学生は母語話者であるため、外国人上級学習者同様、オーセンティック教材が適していると考え、授業に取り入れることとする。

3.1 オーセンティック教材の定義

『英語教育用語辞典』⁽²⁾によれば、オーセンティック教材 (authentic material) とは、「外国語学習用として意図的につくられた教材ではなく、現実に存在する事物をテキストや音声教材としたもの」とある。また、『新版日本語教育事典』⁽³⁾の教材の項目においては、「新聞、雑誌、テレビ番組などを、そのまま日本語教育の場で利用することがある。このようなオーセンティック (現実的) なものは「生教材」と呼ばれるが、生教材は「生」であっても、その場で味わうライブとは異なる。(中略) 何らかの媒体に固定され、再現性を有する必要がある」とされている。本稿では、オーセンティック教材に関して、英語教育また日本語教育に

おけるオーセンティック教材の定義を採用することとする。

3.2 オーセンティック教材の選択

実際に授業で使用する聴解教材については、先行研究がないことと、日本人学生向けの既製の日本語聴解教材がないため、オーセンティック教材を使用するものとする。日本人学生向けに教材として使用するものを選択する際、興味を持って取り組んでもらうために、大学生の周辺にあるものを使用することと、なるべく旬の素材を扱うことの2点に留意した。また、再現可能であることから、YouTubeの動画を利用し、授業時間の制限と適度な集中力が保てることを考慮した上で、1分30秒から、長くても2分30秒程度の長さの抑え聴解学習を試みた。

母語話者であっても日本語を一字一句間違えず完全に聞き取れないことがあることを学生に認識させることがひとつの目的であるため、特に、一回目の内容は難しすぎず、かつ、引き続き聴解学習に興味を持って臨んでもらうためにやさしすぎない内容を選んだ。

以上の点を考慮した上で、第1回目から第5回目までの授業内で聴解学習を試みるため、結果的に次の5つを採用した。

3.2.1 第1回 (9月28日) 実施

テレビアニメ「舟を編む」第3弾の1分30秒程のプロモーションビデオを取り上げた。

原作は2012年に本屋大賞を受賞した三浦しをん作の小説であり、2013年には映画化されたが、この度2016年10月13日からテレビアニメとして上映されることが決定されたため、旬の話題であると考え、一回目の聴解学習の題材として選んだ。

結果として、取り組んだ学生から「日本語でも意外と聞きとるのが大変だった。」「実際にまだ自分自身が知らない日本語の言葉、言葉の使い方があるというこ

とを発見できた。」など同様のコメントが30近く寄せられたので、正しく聞こうとする意欲の喚起になり、難易度は適当であったのではないかと判断し、二回目から教材を選ぶ上での参考基準とした。

3.2.2 第2回(10月5日)実施

大隅良典先生のノーベル賞受賞のインタビューから1分50秒程を抜粋した。

授業実施の2日前に日本人がノーベル生理学・医学賞を受賞したと発表され、テレビやネットのニュースではその話題で持ちきりとなり、受賞者の大隅良典先生がご研究に関する説明をされている場面が何度も繰り返し映し出されていた。そこで、大隅良典先生の生の声を学生は実際に聞き取れているかを確認するため、なるべく専門的ではない部分を選んで聴かせた。

3.2.3 第3回(10月12日)実施

書籍、テレビアニメ、映画となった「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」の映画版から、ドラッカーが出てくる場面を2分30秒程度を選び採用した。

履修者の中に空手部、カバディ部などの運動部所属の学生が多くいたことから、スポーツに関係するものを取り入れることにした。原作は2009年12月にダイヤモンド社から単行本として出版され、2011年4月にテレビアニメ化され、2011年6月に映画が公開された題材である。

3.2.4 第4回(10月19日)実施

長編アニメーション映画「君の名は。」の新海誠監督がテレビに出演し、インタビューに応じている様子のうち1分40秒程を選んだ。

聖地巡礼などで社会現象を巻き起こしていると言われる映画「君の名は。」がスペイン・シッチェス映画祭のアニメ部門で「最優秀長編作品賞」を受賞した。その様子をナレーション、新海誠監督のインタビューが入った動画から聞き取りを行った。映画が上演され始めたのは数カ月前であったが、本作品を鑑賞した学生も多く、授業実施3日前の受賞だったので、旬の題材として適していると考えた。

3.2.5 第5回(10月26日)実施

小池百合子東京都知事の所信表明から2分程度を聞き取る。

築地市場の豊洲移転問題が取りだたされている最

中、都議会定例会において、小池百合子都知事所の所信表明が行われ、豊洲問題に関して触れられていた。

今回教材として選んだものは、オーセンティック教材ではあるが、都議会における所信表明であるため予め原稿が用意されているものである。第2回、第4回に実施したものはやや違い、聞き取りやすいのではないかと予測した。

結果として、学生のコメントにも「小池さんの話し方が上手くて、聞きとりが上手くできました」「今までで一番出来た」などと挙げられていた。

4. 日本人学生の聴解力

日本語母語話者である日本人学生を対象に、前章で選択したオーセンティック教材を活用し、一字一句違わずに聞き取れるかの調査を行った。資料1から5のとおり、各回ことばの穴あきプリントを配布し、穴が空いている箇所のことばを聞き取り、左側にひらがなを、右側に漢字を記入する指示を出した。

今回の調査の目的は日本人学生の聴解力の現状を知ることであり、オーセンティック教材を利用するため、ことばの選択に関しては、和語、漢語の区別、常用漢字であるか等を問わず、一定の基準は設けなかった。また、使用度・理解度の低いことばに関しては、聞き取りはできても漢字が書けないのではないかという仮説を立て、聞き取りと同時に使用度・理解度の記入(1.自分でも使っている/2.自分では使っていないが意味はわかる/3.聞いたことはあるが意味は知らない/4.言葉自体知らなかった)を求めた。

4.1 調査の実施

できるだけ多くの回答を得るために、履修者数が多く、学部学科に偏りのないI類授業「文化の探究F-2(ふしぎな日本語)」において調査することとし、平成28年9月28日から10月26日まで聴解学習を5回実施した。調査対象者は出席者全員であったが、調査結果をまとめるに当たり、5回全てを受講し、なおかつプリントに記入漏れのなかった履修者65名分を有効回答とした。受講者の内訳を表2に示す。

表2 調査対象学生の内訳 (数値は人数)

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男子 | 7 | 15 | 6 | 0 | 28 |
| 女子 | 5 | 23 | 9 | 0 | 37 |
| 合計 | 12 | 38 | 15 | 0 | 65 |

4.2 調査結果

調査を実施した結果、どの回も全て間違えずにことばを聞き取れた学生は全体の5%から10%未満で、全問正解者は回により異なる学生であった。明らかに漢字が弱いと判断できる学生は数名いたが、その場合、漢字が書けなくても聞き取ることはでき、ひらがなでは正しい答えを書けていることが多かった。

聴解学習において外国人学習者に多く見られる誤りと一点大きく違う点があった。非母語話者の場合、たんこうぼんと書くべきところで「たんこぼん」としたり、とっかを「とか」と書くなど、長音、促音、拗音、撥音などの特殊音の誤答が非常に多いが、日本人学生の解答にその誤りはほぼなかった。ただし、骨子（こっし）に関しては、ことばを知らない人が多かったようで、促音が抜け「こし」と書いた人が13名いた。また、少数ではあるものの、たんできが「たんてき」、こっしを「ごし」とする濁音清音の誤りは母語話者でも見られた。

4.3 誤答分析

聞き取りの誤答数が多かったものは、「骨子 (45)」「動的 (38)」「耽溺 (31)」「陳腐化 (20)」「画した (14)」の順であった。正解が得られなかったことばと、使用度・理解度が低い「3.聞いたことはあるが意味は知らない」また「4.言葉自体知らなかった」との回答したものとの関係について表3に示す。

表3からわかることは、「3.聞いたことはあるが意味は知らない」または「4.言葉自体知らなかった」と答えた場合でも、ことばの聞き取り自体には直接影響がなく、正確にできているものも多いことである。一方、聞き取りで誤答が多く、使用度・理解度の低かったことばに関しては、正しい漢字を書けないものがほとんどであった。

初めに立てた「使用度・理解度の低いことばに関しては、聞き取りはできても漢字が書けないのではないか」という仮説は今回の結果を見る限りではおおよそ予測通りだったと言える。学生達が既に知っている、または使用している既知語であれば聞き取りもたやすく漢字を書ける場合が多いが、日本語母語話者であっても、聞き取り書く作業の中で、文脈から一瞬のうちに漢字を想像することは容易ではないことがわかる。

4.4 学生のコメント分析

授業終わりに、その日の授業の中で自分なりに気づいたこと、興味をもったこと、これから取り入れてみようと思ったことなどを記入するコメントシートを配布しているが、特に聴解学習に関して記入するよう指示を出しているわけではないにも関わらず、以下のとおり毎回聴解に関するコメントがみられた。コメント内容は聞き取りそのものについて書いてあるものと、漢字に触れているもの大きく二つに分かれているが、その一部を原文のまま以下に記す。

表3 使用度・理解度と誤答との関係

※○は学生記入のまま転記

| 聞き取りをした ひらがな/漢字 | 回答 3、4 合計数 (%) | <聞き取り> | | <漢字> | |
|--------------------|-------------------|---------|---------------|---------|----------|
| | | 誤答 数 | 誤答例 | 誤答 数 | 誤答例 |
| たんでき/耽溺 | 49 (75.4) | 31 | たんてき、たんれき | 35 | 端的、単的 |
| こっし/骨子 | 45 (69.2) | 45 | こし、ごし、しゅし | 42 | 古紙、腰、主旨 |
| どちゃく/土着 | 36 (55.4) | 4 | ぶちゃく、むちゃく | 15 | 無記入 |
| いとわず/厭わず | 32 (49.2) | 4 | いとまず | 33 | い問わず |
| たんそく/嘆息 | 22 (33.8) | 5 | かんそく | 38 | 端息、短息 |
| かくした/画した | 21 (32.3) | 14 | かく (した抜け) | 32 | 隠した、格した |
| どうてき/動的 | 20 (30.8) | 38 | いとてき、あつどうてき | 38 | 意図的、圧倒的 |
| こうがく/光学 | 20 (30.8) | 5 | こうかく、こがた | 18 | 古学、小型、高○ |
| たたずむ/佇む | 18 (27.7) | 3 | 無記入 | 15 | 立たずむ |
| ちんぷか/陳腐化 | 18 (27.7) | 20 | ちんぷ (か抜け)、しんぷ | 29 | 鎮、沈○化 |
| たいけいてき/体系的 | 18 (27.7) | 3 | たいけん、たいけい | 23 | 態形、体形、体型 |
| しんじょう/信条 | 16 (24.6) | 0 | | 31 | 心情、真条 |

【第1回目】

- ・20年間日本語を使っても聞いた事がない言葉もあった。日本語は難しいと感じた。(3年生)
- ・漢字をもっと書けるようになりたいと思った。本を読んで日本語の勉強をする。(3年生)
- ・日本語の聞きとりも知らなければ分からないものがあると分かった。(2年生)
- ・動画を見て日本語は聞きとれたのですが、漢字がほとんど書けなかったので、本や新聞を読んで、難しい漢字も覚えようと思います。(2年生)
- ・言葉は知っていても漢字にできない言葉が多いことに気がついた。(2年生)
- ・完全には聞き取れなかったので、普段から分からない言葉を辞書で調べるようにしたい。(1年生)

【第2回目】

- ・日本語の読み方や聞き取りが意外と難しく自分のできなさに驚いてしまった。(3年生)
- ・聴き取りの練習をし、話の内容を正確にとらえていきたいです。(3年生)
- ・日本語の聞き取り能力をもう少し高めていきたいと思った。(2年生)
- ・やっぱり声をきいて文字おこしするのは難しいなと思いました。人の話し方や声によっても難易度は左右されると思います。(2年生)
- ・もう少し聴き取りができるようにしたいので、普段から様々な言葉に聞き慣れていきたいと思った。(1年生)

【第3回目】

- ・最後の聞きとりで聞きとることはできても漢字が書けなかった。(3年生)
- ・聞き取りが前回より簡単だと思いました。(2年生)
- ・ヒアリングをやって日本語なのに、聞き取れない部分があることに気づいた。(1年生)
- ・英語だけではなく日本語もヒアリングの勉強を取り入れようと思った。(1年生)

【第4回目】

- ・毎日ニュース等をしっかり見る。古今和歌集も取り入れてみようと思います。(3年生)
- ・知らない言葉が出てきたら、そのたびに意味を調べようと思いました。昔はやっていて、今はもうやっていなかったのですが、今回の難読語や聞き取りで正解することができず、悔しかったのでまた再開したいと思いました。(2年生)
- ・今日の聞きとりは前回より難しかったように思います。人に聞きとりやすいように話すことは大事ななと

思いました。(1年生)

【第5回目】

- ・今回の聞き取りは今までで一番出来た。(2年生)
 - ・だんだん聞き取りに慣れてきた。(1年生)
- (この回は、授業内で取り上げた「オノマトペ」と「助数詞」のほうが非常にインパクトが強かったらしく、聴解学習に関するコメントはほとんどなかった。)

以上、第1回から5回までの学生のコメントから推測できることは、日本語母語話者である日本人なら日本語がわかって当たり前だという当然意識が前提にあること、また、日本語なら全て聞き取れるし、意味がわかると考えていることである。しかし、現実にはそうではないことが理解できたようだ。

「聞く」学習によって、「話す」ことに結び付けた、「日常生活から言葉を意識して話したり聞いたりする。」(3年生)、「発音に気をつける。」(3年生)などのコメントもあった。さらに、学校教育でいうところのコミュニケーション能力につなげた「CMの言葉を聞き取るやつも楽しかったです。これが日常的にもすぐできたら相手の気持ちをすぐ理解できるんだと思った。」(3年生)という意見もあった。

5. 聴解力に影響を与える要因

これまで日本語母語話者である日本人学生の聴解力の現状に関して調べてきた。ここでは、母語話者の聴解力に影響を与えている外的要因に関して考察する。

5.1 情報収集手段

文化庁の平成27年度「国語に関する世論調査」⁽⁴⁾によると、「毎日の生活に必要な情報を何から得ているか」という質問に対し、「テレビ」と答えている人の率が85.9%と最も高く、次いで「新聞」(67.7%)、「携帯電話(スマートフォン含む)」(41.9%)、「パソコン」(28.5%)となっている。「テレビ」と答えた人を年代別に見ると、16~19歳が78.6%、20代が81.1%である。また、同調査の「言葉や言葉の使い方に大きな影響を与えるのは何だと思うか」という質問に対しても、「テレビ」が86.6%と高く、年代別に見ても、16~19歳が73.8%、20代で78.0%という結果が出ている。

この二つの質問に対する回答からみて、個人差はあるだろうが、大学生も少なからずテレビから情報を得ていると考えられ、大正大学の学生も例外ではないと言えるだろう。

5.2 テレビの字幕放送

近年テレビを見ていて気付くことは、字幕放送の普及率の高さだ。実際どれほどテレビ放送に字幕がつけられているのか、総務省が2007年10月に発表した行政指針「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針」⁽⁵⁾に関わる最新データ(「平成27年度の字幕放送等の実績」)で以下の表4のとおり確認した。ただし、ここでは、大正大学の学生が日ごろ最も目にしているであろうNHK(総合)と在京キー5局⁽⁶⁾のみを記載する。

また、平成24年5月23日に出された「デジタル放送時代の視聴覚障害者向け放送の充実に関する研究会

5.3 テレビ視聴調査

2.3 同様、授業内に配布するコメントシートで次の3つのテレビ視聴に関する質問をした。

①平均すると一週間に合計何時間テレビ(ニュースを含む)をしていますか。

②どんな番組を見ますか。

[ニュース・ドラマ・その他自由記述]

③テレビを見るとき、画面に出る日本語字幕を読んでいますか。選択肢の中から選んでください。

[1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 全くそう思わない]

表4 各局の拡充計画と実績

| | 行政指針の普及目標となる放送番組における字幕番組の割合 | | 総放送時間に占める字幕放送時間の割合 | |
|-------------|-----------------------------|--------|--------------------|-------|
| | 計画値 | 実績値 | 計画値 | 実績値 |
| 日本放送協会(総合) | 89.0%程度 | 93.8% | 75.0%程度 | 80.6% |
| 日本テレビ放送網(株) | 95.4% | 96.7% | 42.4% | 50.7% |
| (株)TBSテレビ | 94.7% | 99.7% | 52.4% | 57.6% |
| (株)テレビ朝日 | 97.8% | 100.0% | 48.3% | 68.0% |
| (株)フジテレビジョン | 96.8% | 99.7% | 52.1% | 57.2% |
| (株)テレビ東京 | 94.8% | 98.9% | 48.0% | 55.7% |

の報告書⁽⁷⁾によると、視聴覚障害者等の状況は、

厚生労働省「身体障害児・者実態調査」において、身体障害者手帳の交付を受けている、又は身体障害者福祉法別表に掲げる障害を有する聴覚・言語障害者は平成13年(2001年)に34万6千人、視覚障害者は30万1千人、平成18年(2006年)には各々34万3千人、31万人と横ばいの状況にある。なお、人口比15.4%の1,944万人が難聴者(補聴器ユーザー及び潜在ユーザー数)とする推計もある(一般社団法人日本補聴器販売店協会「補聴器供給システムの在り方に関する研究2年次報告書」(平成5年(2003年))。

高齢化がすすむ現代において、字幕放送を必要とする難聴者は増える傾向であることを考えると、今後ますます字幕放送の需要が増えていくことは想像に難くない。ここまで普及率が高いと、実際には字幕を必要としていないテレビ視聴者も字幕を無意識のうちに読んでいるのではないかという疑問がわいてくる。そこで、前出の授業において、履修学生に対しテレビ視聴に関する質問をした。

調査の結果(有効回答155)、家にテレビは置いておらず全く見ていないという学生から、家にいる間はずっと見ていると回答した学生までいたが、テレビの一週間の合計平均視聴時間は、4年生(2名)15時間、3年生(49名)12.2時間、2年生(69名)11.3時間、1年生(35名)9.9時間、全体の平均が11.3時間であった。全体では、1日平均1.6時間テレビを見ていることとなる。

次に、「テレビを見るとき、画面に出る日本語字幕を読んでいますか」という問いに対する148名の有効回答を図1に示す。今回の調査からは「1 そう思う」と「2 だいたいそう思う」を合わせると、50%を超える学生が字幕を読んでいる結果となった。

授業内で、初めて聴解学習を行った際のコメントシートにも「聞き取りが難しいなと思いました。ニュースでも字幕が出ているので目で言っていることを確認できるので、これからは耳だけ傾け話の内容を理解したい。」(3年生)、「字幕なしで日本語を聞いたら案外聞き取れないことが分かった。」(3年生)という学生の生の声があったことから字幕を読んでいることが判明した。

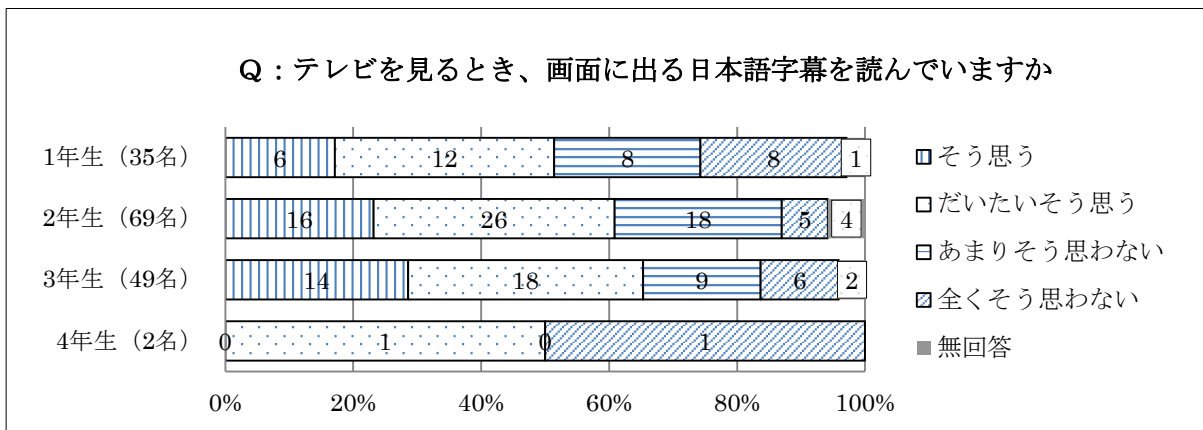


図1 日本語字幕に関する学年別回答結果

視聴する番組の内訳に関しては、複数回答で図2のとおりとなったが、回答欄の選択肢にニュース、ドラマしか設けていなかったため、バラエティやアニメ等を追加していたら、多少違う結果が出たと推測される。その他には、ドキュメンタリー、クイズ、音楽番組、スポーツ、落語、映画、特撮などが挙がっていた。

「日本語字幕」を読むかどうかの質問に対し、「1 そう思う」と答えた学生が視聴するのはニュースとドラマで全体の約72%を占めており、「4 全くそう思わない」と答えた学生55%より多いことがわかる。また、バラエティに関しては、「1 そう思う」と答えた学生が全体の17.5%に比べ、「4 全くそう思わない」と答えた学生では26.3%となり、字幕を読まない人のほうがバラエティ番組を多く見ている結果となった。この結果から、内容をきちんと解釈する必要のあるニュースやドラマでは字幕の助かを借りることがあり、バラエティなど楽しさや気楽さが求められる番組では、さほどことばに捉われないのではないかと推察できる。

5.4 その他の要因

聴解力に影響を与える要因として、PCや携帯電話・スマートフォンの普及でSNS利用時間が拡大したこと、また、核家族化による家族とのコミュニケーション時間の短縮により、人との対話時間が少なくなったことなどが挙げられる。特に、SNS利用時間の拡大により、「読む・書く」時間は増えても、「話す・聞く」時間は減る一方である。

さらに、最近では、「やばい」「まじ」「すごい」などのワードでいくつものことばを代用し、お互いに理解し合っているのかもわからないまま、会話を成立させている現象が見受けられる。10代の人たちばかりでなく、20代の社会人までも「まじですか」などと応答し、電車内や街で会話している場面に遭遇することがある。これでは、新しいことばを学ぶことも、小・中・高等学校教育の目指す「話す・聞く」ことによるコミュニケーション能力の向上も図れそうにない。

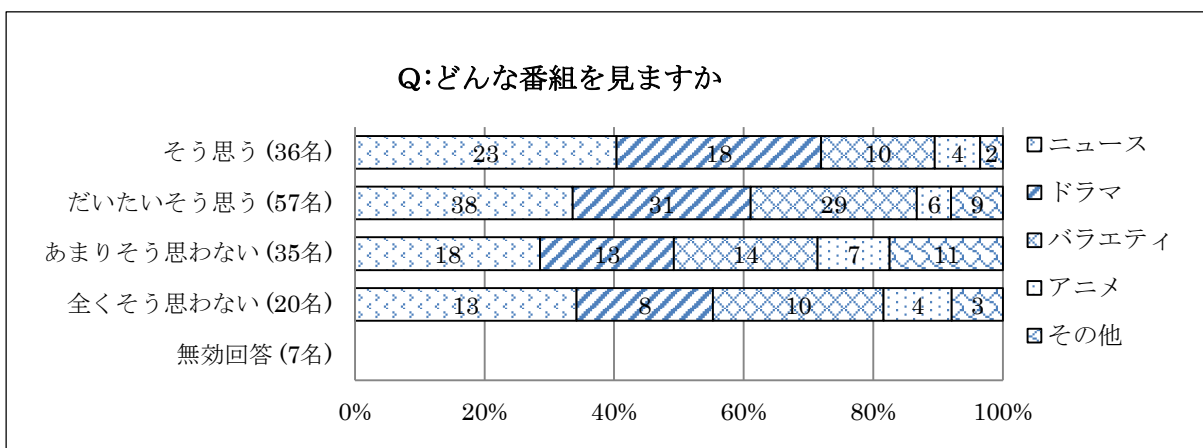


図2 テレビ字幕利用別視聴番組の種類

6. まとめ

拙稿に取り組む誘因となったのは、テレビの字幕放送の普及率の高さであった。ある時、音を出さずにテレビニュースを見る必要があったが、字幕がついていたのでイヤフォンも使わずに何の問題もなく視聴できるという体験をした。字幕放送は、もともと視聴覚障害者のために始められた行政施策であったが、実際にはその目的から外れる人たちも字幕によって助けられることがあるのではないかと考えられる。その一方で、字幕が必要のない人も字幕に頼るといった現象が起きているのではないかと疑問も生じた。

今回、日本人学生の聴解力の現状を調査するにあたり、大学以前の、日本語を「聞く」教育に関して調べていくうちに明らかになったのは、母語話者に対しての聞く教育はコミュニケーションの一環としての聞く能力向上に重点が置かれていることだった。そのため、指導要領にも「一字一句正確に聞き取る」とは示されておらず、小学校の段階でも聞き取り学習を授業に取り入れることは教諭に任されており、学生調査によると現実的には少ないようだ。これは世界の言語のひとつとして、日本人が外国語を学ぶ場合や、外国人が日本語を学ぶ場合と大きく異なっている。

そこで実際に、大学生の周りにあり、かつ旬な話題であるオーセンティックなものを題材として取り上げ、授業内で聴解学習を行い、その誤答、また学生自身のコメントから日本人学生の聴解力現状分析を試みた。

結果として、100%正確に聞き取っている学生はほとんどおらず、「聞いた事はあるが意味は知らない」または、「言葉自体知らなかった」という語彙がでてくると誤答が多いという、予め考えられる結果となった。今回の被験者である日本語母語話者と一般的な外国人日本語学習者とを比較すると、日本語母語話者は特殊音の間違いが少ないという結果が出たが、「骨子」など被験者の知らない語句に関しては、促音が抜けるなどの記述の間違いが見られたので、「既知語に限っては」という条件つきで、特殊音の記述に関して間違いが少ないと言える。

4.4 でも触れたが、聴解学習に関しては授業後に多くのコメントが寄せられた。

- ・耳で聞いていて、日本語でもわからないことがあるんだなと思った。(1年生)
- ・特に理解もせずに聞き流していたものを改めて意識できるようにしたいと思った。(2年生)
- ・日本語を聞き取れても漢字が出てこないことが多々ありました。スマホなどに慣れると余計に出てこなく

なるんだろうなと不安になりました。(2年生)

上の学生たちのコメントに代表されるように、日本人学生にとって日本語の聴解学習は、次の3つの学びがあることが認められた。

- ①母語話者であっても聞き取れない日本語がある
- ②聞き取れても漢字が書けないことも多い
- ③正しい意味も知らずに使っていることばがある

さらに学生達から寄せられたコメントをみると、聴解学習が語彙力、漢字力、さらには日本語力に結びつくのではないかと考えられる。

- ・読めるが書けない漢字が多くあることも分かり、もっと多くの漢字を書けるようになってみたいと感じた。(3年生)
- ・難しいから漢字を使わないではなく、日々の生活から使っていきたい。(2年生)
- ・ニュースを見たり、本を読んだりして日本語を聞いたり見たりして日本語力を高めていきたい。(3年生)
- ・聞き取りで聞く力を身につけ、国語力に結びつけていきたいと思います。(2年生)
- ・聞き取りなどをして、普段使っている日本語にとっても興味が持てた。(2年生)

以上のように、日本語母語話者であるからといって必ずしも日本語が正確に聞き取れるわけではないことが明らかになった。検定試験などのために、新しいことばや漢字を知識として覚えるのではなく、学んだことばを定着させるためにも、実践の場面で学んでいくことが効果的ではないだろうか。その意味で、オーセンティック教材を使用した日本語の聴解学習を学校教育の早い段階から継続して取り入れることで、語彙力、漢字力、ひいては日本語力の強化の一助となることが期待される。

本調査研究では、オーセンティック教材の選択に関して客観的には評価できないという問題が残った。どのレベルのどんな内容の題材をどれだけ取り上げれば、どれほどの効果があるのかは今後の大きな課題となる。

〈注〉

- (1) 文部科学省ホームページ掲載の「学習指導要領」を転用した。小学校学習指導要領第2章第1節国語(平成20年3月) pp. 6-21、中学校学習指導要領第2章第1節国語(平成20年3月) pp. 6-16、高等学校学習指導要領第2章第1節国語 pp. 11-17(平成21年3月)
- (2) 『英語教育用語辞典』 pp. 31-32
- (3) 『新版日本語教育事典』 pp. 895-896
- (4) 平成28年9月21日に報道発表された、文化庁による平成

27年度「国語に関する世論調査」の中から pp. 9-15「情報化
の中でのコミュニケーション」のデータを使用

- (5) 総務省は、2007年10月に行政指針「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針」の中で、テレビジョン放送による視聴覚障害者や高齢者に配慮した字幕放送等の普及促進に取り組むと発表した。本データは、平成28年11月26日に発表された「平成27年度の字幕放送等の実績」の別表1「各局の拡充計画と実績」による。
- (6) 在京キー5局は東京に本社を置く5つの放送局を指す。本稿では取り上げなかったが、総務省が行政指針として字幕放送を普及させる対象としている放送局は、この他に、NHK教育、在阪準キー4局（株式会社毎日放送、朝日放送株式会社、読売テレビ放送株式会社、関西テレビ放送株式会社）と在名広域4局（株式会社CBCテレビ、東海テレビ放送株式会社、名古屋テレビ放送株式会社、中京テレビ放送株式会社）のほか、全国の系列ローカル局、上記以外のローカル局も含まれている。
- (7) 平成24年5月23日に総務省より、「デジタル放送時代の視聴覚障害者向け放送の充実に関する研究会」報告書が公開された。そのうちの「15年間の状況の変化」1.1.1 視聴覚障害者等の状況のデータを転載したものである。

参考文献

- 白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則（1999）『英語教育用語辞典』大修館書店
- 日本語教育学会編（2005）『新版日本語教育事典』大修館書店
- 横山紀子（2008）『非母語話者日本語教師再教育における聴解指導に関する実証的研究』ひつじ書房
- 河内千春（1996）「外国語聴解力を伸ばすために必要なこと」『言語探究の領域 小泉保博士古稀記念論文集』pp. 139-146 大学書林
- 境希里子（2012）「日本人学生のための日本語教育（1）—新都心キャンパスの総合教養科目およびコラボレーション科目の場合—」『文化学園大学紀要 人文・社会科学研究』第20集 pp. 107-119
- 境希里子（2013）「日本人学生のための日本語教育（2）—専門分野を生かした、学習意欲を高める教材—」『文化学園大学紀要 人文・社会科学研究』第21集 pp. 99-112
- 下条正純（2010）「論述式答案に見る日本人大学生の日本語諸問題」『佐賀大学留学生センター紀要』第9号 pp. 47-59
- 山岡華菜子（2012）「英語リメディアル教育でのオーセンティック教材の使用」『リメディアル教育研究』第7巻第1号 pp. 165-175
- 横野健二（2007）「インターネット上のラジオ放送中のCMを用いてリスニング活動をスパイス・アップ: オーセンティックなリス

ニング教材を求めて」『高校教育研究』59 pp. 57-70

参考サイト

- <https://www.youtube.com/watch?v=X0iIHHxMqE4>
「舟を編む」第3弾PV 2016. 9. 25 視聴
- https://www.youtube.com/watch?v=46_4zjCuDUE
10/3: ノーベル賞 大隅良典・東工大 オートファジーを解説する 2016. 10. 4 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=Iszxdvgi88E>
もしドラ ～もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら～ 映画 2011 2016. 10. 9 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=uISHgjUanlA>
「君の名は。」 スペイン・シッチェス映画祭で「最優秀長編作品賞」 めざましテレビ (10/17) 2016. 10. 17 視聴
- <https://www.youtube.com/watch?v=ibFpzteokFA>
「小池百合子 東京都知事所信表明」 2016. 10. 23 視聴
- http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2010/11/29/syo.pdf
文部科学省ホームページ「小学校学習指導要領」 2016. 10. 30 閲覧
- http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/chu/_icsFiles/afieldfile/2010/12/16/121504.pdf
文部科学省ホームページ「中学校学習指導要領」 2016. 10. 30 閲覧
- http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/30/1304427_002.pdf
文部科学省ホームページ「高等学校学習指導要領」 2016. 10. 30 閲覧
- http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000022.html
総務省ホームページ「デジタル放送時代の視聴覚障害者向け放送の充実に関する研究会」報告書の公表（平成24年5月23日） 2016. 10. 30 閲覧
- http://www.soumu.go.jp/main_content/000254131.pdf
総務省ホームページ「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針見直しの概要」（平成24年10月2日改定） 2016. 10. 30 閲覧
- http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu09_02000152.html
総務省ホームページ「平成27年度の字幕放送等の実績」（平成28年11月25日） 2016. 12. 10 閲覧
- http://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/pdf/2016092101_besshi.pdf
文化庁ホームページ「平成27年度「国語に関する世論調査」 2016. 10. 30 閲覧

資料1

「文化の探究F-2 (ふしぎな日本語)」

2016.9.28 (水)

「舟を編む」原作：三浦しをん

2011年9月16日 (光文社)

2012年本屋大賞受賞作

①映画 監督：石井裕也

脚本：渡辺謙作

出演：松田龍平 宮崎あおい オダギリジョー他

2013年4月13日

②TVアニメ 監督：黒柳マサトシ

フジテレビ (2016年10月13日～)

〔左側〕聞いたとおりに“ひらがな”を書く／〔右側〕“漢字”を書く

「舟を編む」第3弾PV 聴解 <https://www.youtube.com/watch?v=XOiIHHxMqE4>

「辞書の編集作業は (① たんこうぼん / 単行本) や雑誌とは違う 大変特殊な世界です
気長で細かい作業を (② いとわず / 厭わず) 言葉に (③ たんでき / 耽溺) し
しかし溺れきらず 広い (④ しゃ / 視野) をも併せ持つ」

「そんなやつがいるはずだ 必ず」

<中略>

「言葉の海を前に (⑤ たたずむ / 佇む) 人の 心を 思いを運ぶために
僕たちは “舟を編む”」

「どうかいい辞書を作ってくれ 多くの人が安心して乗れるような舟を
そしてきみだからこそ作れる舟を」

それぞれの語は、次のどれに当たりますか。【 1 自分でも使っている / 2 自分では使っていないが意味はわかる /
3 聞いたことはあるが意味は知らない / 4 言葉自体知らなかった 】

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

10/3：ノーベル賞 大隅良典・東工大 オートファジーを解説する 聴解

https://www.youtube.com/watch?v=46_4zjCuDUE

『… 生命の基本単位である細胞がいかにかに (① どうてき / 動的) な存在であるかということに興味をもって 酵母という小さい細胞に、えー、長年、えー、いくつかの問いを をして参りました。私は人がやらないことをやろうという思いから酵母の液胞という の研究を始めました。

で、1988年、今から28、27年半ほど前に、えー、液胞が、えー、実際に細胞の中での分解に (② はたす / 果たす) 役割 というものに興味を持ちまして、えー、そういう研究を、えー、東大の教養学部の、私自身 たった一人の研究室に移ったときに 始める機会になり それ以降28年に渡って 『オートファジー』という研究に (③ たずさわって / 携わって) 参りました。

で、『オートファジー』という言葉は えー、耳慣れない言葉だ かと思います、えー、酵母が実際に (④ きが / 飢餓) に (⑤ おちいる / 陥る) と自分自身のタンパク質を、えー、分解を始めます。

で、その現象を、私は、えー (⑥ こうがく / 光学) 顕微鏡で (⑦ とらえる / 捉える) ことができたという ことが私の研究の、えー出発点になりました。

で、ババミズズさんという、えー、電子顕微鏡でその課程をえー、 (⑧ かいせき / 解析) することで 実はそれが それまで知られていた ど、動物細胞で知られてた 『オートファジー』という現象と 全く同一の課程だということがわかりました。

それぞれの語は、次のどれに当たりますか。【 1 自分でも使っている / 2 自分では使っていないが意味はわかる / 3 聞いたことはあるが意味は知らない / 4 言葉自体知らなかった 】

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____

もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら ～映画 2011 聴解

<https://www.youtube.com/watch?v=Iszxdvgi88E>

文乃「加地先生と私とで新しいメニューを作成

しました。野球部は新しい練習方法としてチーム制を

① どうにゅう / 導入) します。

ランニング練習ではただ走るのではなく、タイムを比べます。つまり、

② きょうそう / 競争) です。それも個人だけではなく、
チームとしての ③ じゅんい / 順位) を出します。

そうすることで、各自の責任感を期待します。」

夕紀の言うとおりに、きっかけさえあればこのチームは強くなれるのだ。

ドラッカーは教えてくれた「人は最大の資産である」と。

* * * * *

みなみ「野球部ではなく高校野球のほうを変えてしまう」

文乃「イノベーション…… ④ かくしん / 革新) ですか?」

みなみ「イノベーションは組織の外にもたらす変化なの。

古い常識を打ち壊し、新しい野球を ⑤ そうぞう / 創造) することで、

高校野球界の常識を変える。古い物、死につつあるもの ⑥ ちんぷか / 陳腐化)

したものは、計画的かつ ⑦ たいけいてき / 体系的) に捨てていく。」

文乃「高校野球にとって死につつあるものって?」

みなみ「⑧ せんもんか / 専門家) に聞きに行きましょう。」

それぞれの語は、次のどれに当たりますか。【 1 自分でも使っている / 2 自分では使っていないが意味はわかる /
3 聞いたことはあるが意味は知らない / 4 言葉自体知らなかった 】

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____

「君の名は。」スペイン・シッチェス映画祭で「最優秀長編作品賞」めざましテレビ（10/17）聴解

<https://www.youtube.com/watch?v=uISHgjUan1A>

興行収入149億円を突破し、① きょうい / 驚異) の
② かいしんげき / 快進撃) を続けている映画「君の名は。」

15日、スペインで開催されたシッチェス・カタルーニャ国際映画祭で、アニメーション
作品部門の最優秀長編作品賞を受賞しました。このシッチェス映画祭とは—

主にSF・ファンタジー・ホラー等のエンターテインメントに
③ とっか / 特化) した映画祭で、あのお〜芸術性を重んじる他の映画
祭とは、ちょっと④ いっせん / 一線) を⑤ かくした / 画した)
ものになります。かなり、その、歴史の古い映画祭で、まあ、そこで受賞したということ
自体が、あの、すごい⑥ いぎょう / 偉業) と言えるのではないのでしょうか。

これまでアニメーション部門では「時をかける少女」などで知られる細田守監督も最優
秀長編作品賞に3度選ばれていて「君の名は。」が日本5作目の受賞。日本の新たなアニメ
「君の名は。」宮崎駿の⑦ こうけいしゃ / 後継者) となるか、とスペインの
メディアも⑧ ぜっさん / 絶賛) 。

再び日本のアニメが世界に認められることになりました。
受賞を受け、監督の新海誠さんも、喜びのコメントを寄せました。
「本当に光栄に思います。「君の名は。」は、入れ替わりや、彗星来訪、東京と地方、
⑨ どちゃく / 土着) の伝統や神道など、さまざまな要素から成る物語
ですが、その⑩ こっし / 骨子) は、ストレートな「ボーイミーツガール」
です。この映画をスペインの方々に楽しんでいただけたことに、私自身とても励ま
されました。本当にありがとうございました。」

それぞれの語は、次のどれに当たりますか。【 1 自分でも使っている / 2 自分では使っていないが意味はわかる /
3 聞いたことはあるが意味は知らない / 4 言葉自体知らなかった 】

- ① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____
⑩ _____

小池百合子 東京都知事所信表明 聴解 <https://www.youtube.com/watch?v=ibFpzteokFA>

この度、東京都知事に就任いたしました、小池百合子でございます。

平成28年第3回都議会定例会の開会にあたり、都政運営に対する所信の一端を申し述べさせていただきます。

① **ぼうとう** / **冒頭**) からではございますが、まずは、豊洲市場への移転問題についてであります。

築地市場から ② **しんてんち** / **新天地**)、豊洲への移転については、長年、各党・各会派が汗を流してこられたことは、私も承知をいたしております。当の、当の市場関係者も事業の ③ **そんぞく** / **存続**) をかけ、悩み考え、移転へのご協力を賜ってまいりました。

しかし、豊洲市場の移転に関する一連の流れにおいては、都政は都民の信頼を失ったと言わざるを得ません。「聞いていなかった、知らなかった」と、歴代の

④ **とうじしゃ** / **当事者**) たちが、テレビカメラに答える姿に、多くの都民は、

⑤ **たんそく** / **嘆息**) を ⑥ **もらした** / **漏らした**) ことでありましょう。

この失った信頼を回復するためには、想像を超える時間と努力が必要であります。

責任の ⑦ **しょざい** / **所在**) を明らかにする、誰がいつどこで何を決めたのか、何を隠したのか、原因を ⑧ **たんきゅう** / **探究**) する義務が私たちにはあります。

2020年の東京オリンピック、パラリンピックという大事業を控えている今だからこそ、今後このような事態を繰り返さないために、何をすべきなのかと、真剣に議論をしなくてはなりません。徹底した情報の公開も必要であります。組織全体の体質や決定の方法に問題があるとすれば、今こそ、それを変えなければいけないと考えます。むしろ、新しい都政に対する期待に大転換するチャンスとしたい。常に目的は「都民ファースト」の都政の ⑨ **こうちく** / **構築**) にあります。それは私の ⑩ **しんじょう** / **信条**) でもあり、都民の代表者たる都議会の皆さまとも共有できる目的だと信じております。

それぞれの語は、次のどれに当たりますか。【 1 自分でも使っている / 2 自分では使っていないが意味はわかる / 3 聞いたことはあるが意味は知らない / 4 言葉自体知らなかった 】

- ① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____
⑩ _____

